

壮猶館蔵書目録（石川県立図書館蔵）〔翻刻〕

著者	板垣 英治
雑誌名	北陸史學
巻	58
ページ	94-101
発行年	2011-11-01
URL	http://hdl.handle.net/2297/30302

『北陸史学』第五十八号抜刷
二〇一一年二月

壮猶館蔵書目録（石川県立図書館蔵）

板垣英治

〔翻刻〕

壮猶館蔵書目録

本稿は、石川県立図書館小幡文庫（整理番号四五七）に架蔵される、「壮猶館御蔵書目録」を翻刻するものである。

筆者は、金沢大学資料館客員研究員として、かねて明治初年の金沢における高等教育機関の実験機器や蔵書について調査・研究を進め^①、近年は壮猶館を核とする加賀藩の洋学について言及し^②、また加賀藩旧蔵洋書の目録を編集、発表する機会があった^③。

本目録は、その間に着目したものである。ここに記載された洋書等は加賀藩旧蔵書の一部にすぎないとしても、幕末維新期の同時代史料として、第一級の貴重書であることは言を俟たない。しかし筆者は算聞にして本目録の翻刻に接したことがないので、ここに原文のまま紹介することとした。翻刻をこころよくお認めくださった石川県立図書館に深謝の意を表するとともに、校閲くださった中野節子氏にお礼申し上げる。

註

板垣英治

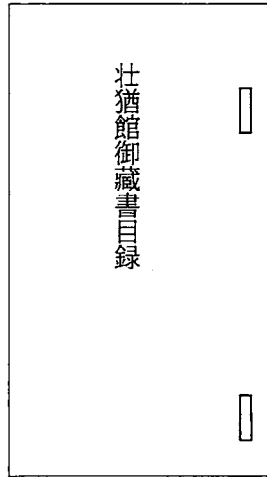
〔1〕板垣編『第四高等学校物理機器図録』（金沢大学資料館資料目録二）（二〇〇四）。同編『石川県専門学校洋書目録』

〔同二〕〔同〕。同編『石川県専門学校物理機器図録』（同三）

（二〇〇五）。同翻刻・解説『全密字』（金沢大学資料館史料叢書二）〔同〕。

〔2〕板垣「加賀藩の洋学に貢献した和蘭語辞書」（『金沢大学資料館研究紀要』四号、二〇〇六）、他。

〔3〕板垣編『加賀藩旧蔵洋書総合目録』（金沢大学資料館史料叢書二）（二〇〇六）。板垣「加賀藩旧蔵洋書の目録作成：壮猶館旧蔵洋書目録、卯辰山養生所旧蔵洋書目録、金沢医学館旧蔵洋書目録、加州軍艦所旧蔵洋書目録、加州彈藥所旧蔵洋書目録、加州海軍局文庫旧蔵洋書目録、および藩校「学校」旧蔵洋書目録と金沢学校旧蔵洋書目録」付録：石川県勸業博物館時代の蘭書目録」（『日本海域研究』三八号、二〇〇七）。



壯猶館御藏書目録

御次ヨリ有
海防方ヨリ
壯猶館御藏書目録

一、武備志 箱入 六拾六冊 「和漢三才圖繪」

同
一、康熙字典 箱入 六拾冊

同
一、武要弁畧 三冊

一、兵学小識 拾七冊

一、百幾撒私^{ベキサンヌ} 五冊

一、金湯要録 六冊

同 圖 壹帖

「(1オ)
「(1ウ)

一、兵学小識附圖表 三帖

一、船舶新編 箱入 貳拾冊

同 圖 三帖 「(2オ)

一、防海試説 九冊

同 圖 壹帖

一、鐵煩鑄鑑 箱入 貳拾壹冊

一、同 圖 壹卷

一、火技範 壹冊 巳正月御渡 「(2ウ)

御次ヨリ
一、傳信通音録 貳冊

一、和蘭字彙 八冊

一、硝子全書 壹冊

一、步操軌範 五冊 辰四月八日御渡

一、和蘭字彙 七冊 同斷

一、造船全書 一二合本壹冊 辰二月六日御渡

一、洋外礮具全圖前編 折本 拾壹冊 辰七月四日御渡

一、講武精論 拾三冊 辰十一月廿八日御渡

一、練卒訓語 三冊 辰十一月三日御渡

一、煩砲射擲表 壹帖 同斷

一、和蘭字彙 四冊 巳二月廿三日御渡

一、軍銃卒練習軌範 一冊 同斷

巳四月十六日御渡

一、シケーブストームウエルキトイク

壹冊 (3オ)

明倫堂ヨリ

一、名物六帖

箱入 貳拾八冊

同断

一、紀効新書

同 五冊

御買上

一、煩手学校

壹冊

一、煩砲学校

壹冊

一、歩兵手銃動身軌範

貳冊

一、練卒訓話後編

三冊

一、騎兵操練

三冊

一、輕兵操練

四冊

一、砲臺新式附録

壹冊

一、練煩新書

貳冊

一、火具篇補遺

壹冊

一、烙丸全備

壹冊

一、火攻弁畧

三冊

一、砲術掌冊

貳冊

一、砲家秘鑑

三冊

一、野戰煩法

貳冊

一、火攻精選

拾三冊

「 (3ウ)

一、震雷銃軌範

五冊 合本四冊

一、火攻圖畧

壹冊

一、同解

壹冊

一、火技範

壹冊

一、礮具全圖

貳冊

一、三語便覽

三冊

一、西洋度量考

壹冊

一、山砲畧說

壹冊

一、舍密啓蒙

四冊

一、舍密明原

壹冊

一、硝子製法集說

壹冊

一、名物考

四拾五冊

一、砲兵操練

貳冊

一、火藥製造書

壹冊

一、泰西王氏銃譜

大銃篇 三冊 附録共

一、用礮軌範

貳冊

一、西洋行軍鼓譜

前篇

小 壹冊

一、海國圖志

拾四冊

巳正月廿一日「 (4ウ)

巳三月十八日御買上 (カ)

一、銃工便覽

帖

壹冊 巳五月三日御買上

「 (4オ)

一、礮術訓蒙 四冊 同断

一、騎兵加刺別印姿掣 前編 壹帖 同断

一、操砲挺範 壹冊 同断

一、理学訓蒙 初編 壹冊 同断

一、測量集成 三冊 已五月十三日御買上

一、舍密開宗 貳拾壹冊 同断

一、スマルレンヒュルゲ 四冊 同断

「(5オ)

海防方ヨリ

一、インハンテリースコール 四冊

一、セーヘリング 一冊

一、マルチン 貳冊

一、ハヒルロー 壹冊

一、バイエル 五冊

（原七月御渡
結中、礮術ヨリ献上之由）

御次ヨリ

一、エキセルシチーマヌーヘルス 壹冊

一、ボムホフ 貳冊

一、コンストウワール 壹冊

一、マリーリン 貳冊

一、ラティン 貳冊

一、ベウセル 写本 六冊

同 圖 壹帖

一、シヨメール 七冊

一、ホイス 拾冊

一、スワルト氏航海書 壹冊 辰五月廿二日御次ヨリ御渡

一、ホールウエグ氏航海書 壹冊 右同断

一、ウエーラント氏詞書 五冊 同断

一、ヒトテインクトン氏ノ航海書 壹冊 同断

買上

一、ハツテレイベチーニク 写本 壹冊

一、カステレエン 貳冊

一、ヤツハンエンホルランドウオルテンフウク 五冊

「(6ウ)

覺

八百五拾文

一、煩手学校 壹冊

一、貫九百二拾文

一、歩兵手銃動身軌範 三冊

貳貫四百七文

一、騎兵操練 六冊

〇 貳貫五百六拾六文

一、歩操軌範 四冊

一、砲兵操練 五冊

壹貫七百文

一、練煩新書

九百三拾五文

一、烙丸明弁

貳貫三百六拾三文

一、砲家秘鑑

四貫八百六拾五文

○一、各國兵製全書

七百三拾壹文

一、煩法学校

貳貫四拾文

一、練兵訓話 後篇

六貫五百九拾六文

一、騎操軌範

四貫四百貳拾文

一、輕兵操練

七百三拾壹文

一、砲臺新式附録

壹貫二拾文

一、火具篇補遺

貳貫四百四拾文

一、火攻弁畧

壹貫八百七拾文

一、砲術掌冊

壹貫五百三拾文

一、野戰煩法

貳冊

三冊

五冊

拾冊

壹冊

六冊

拾冊

八冊

貳冊

三冊

四冊

四冊

貳冊

代ノ四拾貫四百五拾五文 ○印御買上無之 (7オ)

一、四拾三匁

遠西火攻精撰

拾三冊

一、百三拾五匁

名物考

四拾五冊

右砲術方并含密方必用之書

一、拾五匁

西洋度量考

壹冊

一、六匁五分

山礮畧説

壹冊

一、壹兩

洋外礮具全圖

折本 貳本

一、貳拾八匁

歩操震雷軌範

右同断

一、ホイスウワールデンブック 含密方御渡

一、トーフハルマ

一、ミタリインウワールデンブック

一、ウエイランド ウワールデンブック

一、アールデンイクスキュンデ

一、ヘルドジンスト

一、マーレンウワールデンフック 貳冊

一、エンゲルセウワールデンブック

一、スマルレンビュルグ シケーキユンデ

一、同 コンストウワールデンブック

一、ツワールデンシカツト

一、スチールースラントアルチルレリー

一 (7ウ)

陸用大砲用法 并近世發明之大砲等

一、コンストリユクチーエン カフメーチング ハン

ゲシキユウトアホイトフル トイケン

大砲及砲車搬送車之類造道具寸尺等ヲ挙ル書

一、ハンラーフルストラテン氏ラントアルチルレリー

陸砲發揮 一名砲術發揮

一、ホムホフ 武冊 イキリス字引 (8オ)

一、ミリタイリアカデミイ 兵学ノ要ヲ挙ル書与被存候

一、テツケル氏 フルステルキンクスキユンスト

築城并 砲臺場ノ造法ヲ挙ル書

一、サハルト氏フルステルキンクスキユンスト 金湯要録

一、テツケル氏タクチーキテルテリリーワーヘ子ン

三兵答古知箋

一、カノニールスコール 野戦煩法 (8オ)

一、ヘルセル氏ラントアルチルレリー 六冊 砲將須知

一、□スチールチース氏 フルシカン 砲家必讀

一、カハルレリースユール 騎兵操録

一、セツセル氏 エルンストヒユルウエルク 火攻精撰

一、アールデレイクスキユンテ 輿地志畧

一、エースルキーテレー 煩鉄全書

一 (8ウ)

一、アルチルレリースユール 煩法学校

一、ヘウセリウスシケイキユンテ 舍密之書

御買入 一、レリレタントヲツフエキセルシチーテルアルチル

レリー 言冊 煩砲用法

村路ヲ御借用通而出五

一、カルテン氏 セーアルチルレリー 拾言冊 砲砲新篇

一、スチルチーランドアルチルレリー

陸用大砲用法

一、コンストリユクチーエンアフメーチングハンゲン

キユツトアホイトフルトイケン

大砲車搬車之類造法方 (品カ) 等

一、シリタイリアカデミイ 兵学之太要ヲ挙ル

一、テツケル氏 フルステルキンクスキユンスト

一、アルチルレリイ斯科ール 築城并臺場之造法

一、ヘウセリウスシケイキユンデ 大砲打方之事ヲ挙ル

製鍊術必用

一、カルテン氏ゼーアルチルレリー

一、金湯要録之原書 前編 後編

一、金湯要録之原書

一、金湯要録之原書

一、三兵答古知幾之原書

一、野戰煩法之原書

壹冊

一、陸砲發揮

一、各砲術發揮

一、砲將須知并表

一、砲家必讀之原書

一、騎兵操練之原書

一、火攻精撰之元書

一、輿地志畧之原書

一、煩鉄全書之原書

一、煩手学校之原書

一、煩砲学校之原書

一、煩砲用法

ノ三拾貳品

覺

一、山煩畧説

壹冊

一、馬術叢説

一、各国兵制全書

一、八円儀考

一、象限儀考

一、大軍艦図解

└ (9ウ)

一、運轉全集

一、歩軍図解

一、歩兵使統動身軌範 前二記 御在合

一、騎操軌範

一、野戰指麾

一、鑑煩法則

一、火攻弁畧

御在合 三冊

一、雷粉砲考

一、神器精製録

一、海防電覽

一、砲術掌冊

貳冊 御在合

一、七金譯説

一、水陸戰法録

覺

御次御渡

一、ハヒルロン

壹冊

一、マルチン

貳冊

一、セーフエリンク

壹冊

一、康熙字典

四拾冊

一、武用弁畧

三冊

一、武備志

六拾六冊

ノ六口

└ (10ウ)

└ (10才)

└ (11才)

右翻譯方局御用御渡奉受取候以上

寅八月

中村二郎

横山大膳様

一、ホムホフ

貳冊

一、兵学小識

拾七冊

一、同附圖

三枚

一、金湯要録 前編

六冊

一 (11ウ)

一、同圖式

壹冊

一、百幾撒船

五冊

ノ六品

右 十月十五日海防方々御渡

一、ウエイランドコンストウヲールデフツク

一、ホンホフ エンケルセウヲールデンフツク

右式冊御次々御渡何時ニ而も御用之節指上可申事

一 (12オ)

一 (12ウ)